

日本政府は、庶民が自分達のもつ知識水準で満足し、自国の生産品を使い、海外の科学技術と共にその風習が日本に根付かないように、外国のものはどんなものでも使用を禁じた。日本の近隣の国々は、神慮が日本の立法者達にこのような考えを奨励していることに感謝せねばならない。そして日本人が従来の方針を変更して、ヨーロッパのような政策を取ることのないよう努力しなければならない。

人口が多く、聡明で感受性が強く、模倣が上手で忍耐強く勤勉な、この万事に長けた国民が外国のものなら何でも模倣しようとし、わがピョートル大帝ほどの君主をいだけば、日本が持つ能力や富源とあいまって、この国民は数年のうちに東洋の王者となるであろう。そうなれば、遠く離れた国々の保護下にあるアジア東岸やアメリカ西岸の沿海地方はどうなるのか。もし日本人がヨーロッパの知見を自国に導入しようとし、わが国の政策を範とするようになれば、清国も同じ方針を取らざるを得なくなるだろう。そうなればこの二つの強国は、直ぐにでもヨーロッパ情勢を全く別の局面へと塗り変えてしまうかもしれない。

しかし海外のものならどんなものにも深い嫌悪の反応を示す日本や清国の政府も、現在の方針を変えることはあり得ないことはない。両国が自ら望まなくても、必要に迫られてそのように仕向けられるようになるかもしれない。フヴォストフのような攻撃がしばしば繰り返されれば、おそらく国家をかき乱すこのような一握りの無法者を撃退するために、そのような対策を講じるようになるかもしれない。こうした事態に至れば、ヨーロッパに倣<sup>な</sup>って軍艦を製造し、それがやがては艦隊となり、この方策が功を奏せば、同様に人類を絶滅に至らせるほど「開明化された」私達

の他の手段をも採用するまでに至るであろう。

このようにして、ピョートル大帝ほどの天才が介在しなくても、ただ情勢の赴くままに、ヨーロッパのあらゆる発明が徐々に日本に根付いていくであろう。単にその気になりさえすれば、招待する教師に日本人は事欠かないであろう。それ故私は、この正義感が強く高潔な国民を怒らせるような真似は決してはならないと考える。しかし意に反して、もし何か切羽詰った事由によって違った行動を取る必要が生じた時には、あらゆる手段と努力を行使して決然と行動せねばならない。私は日本人と清国人がヨーロッパ諸国のような方針を取り、直ぐさま私達の脅威になると述べているのではない。しかし、私達が子孫に恥じるような真似はしないよう注意せねばならない。

日本人はあらゆる階層を通して、人への接し方が極めて丁寧である。互いの礼儀正しい態度と洗練された振る舞いは、この国民が真に文明の民であることを証明するものである。幽囚の全期間を通して、私達と時を過ごした日本人達はさほど高位の階級ではなかったが、彼等が喧嘩したり互いに口汚く悪罵し合ったりするのを聞いたことは一度もなかった。時には彼等の中で議論が戦わされることもあったが、すべては節度と平静さの中で行われた。わが国での上流階級の集まりにおいてさえ、常にこのようにはいかない。

日本語は、他国から伝播したものではない。日本人は、自分達の母国語を日本人千島人共通の古い祖先から伝わっ